

# 社内木鶏感想用紙

2024 年 2 月 21 日

2 月号

名前

タイトル:

立志立国

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

政治の体たらく、毎日の振り込み詐欺のニュースそして幼児虐待と自分の国ながら日本の将来は本当に大丈夫なのかと思う今日この頃です。今月号のテーマは立志立国です。総リードの高校3年生の武田君は「日本をこれから変えていく自分たちがもっと人間的に成長をして行かなければ日本は変わらない」と述べています。

正に若い人も私も、もっと日本の国の将来を憂い、世界に冠たる国として再び輝かなければなりません。

それには一人一人が、“一隅を照らす”べく自分の持ち場でしっかりと輝く事が必要である。

「一灯照隅、万灯照国」輝く個人であり、輝く個人が集まる会社、輝く田中共栄を目指しましょう。

そして“立志立国”志の高い民の集まりの日本を再生しましょう。孫の世代が世界で活躍する事を楽しみに残された人生、真面目に頑張りたいと思います。

## ②仲間の発表を聞いて気付いたこと

# 社内木鶏感想用紙

2024 年 2 月 26 日

2 月号

名前

タイトル:

日本の底力を発揮する時が来た

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

世の中では色々なことが起きていますが、その中で自分自身の志を強く持つことが大切だと感じました。志が無ければ今の世の中をどの様に変えていきたいとか、自分自身の将来すら変えることが出来ないと思います。社内木鶏会を通じて色々な方の対談を聞き良いことを学んでも志が持てないとどんなに良いことを学んでも無駄になってしまうので自分なりの志を持ち沢山の事にチャレンジしていきたいと思いました。

仕事においても自分自身の志をもって行動をしていかなければならないと思います。志を持ち考えて行動をすると今置かれている現状を自分なりに冷静に見極められ何を優先して行動しないといけないかが分かってくるので状況を変えれると感じました。

今回学んだことを活かすもいかさないも自分自身なので志をしっかりと持ち自分の人生と仕事を良いものにしていきたいと感じました。

## ②仲間の発表を聞いて気付いたこと


# 社内木鶏感想用紙

2024 年 2 月 26 日

2 月号

名前

タイトル: 立志立国

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

国民一人ひとりの立志がないところに立志はない。

国民一人ひとりのありようが、いま問われているのであると幕末の儒者春日潜庵は言われています。

最近よくニュースで政治の裏金問題や様々な政治問題、物価高騰などを耳にしますかまずリーダーシップをとる人が変わらないといろんな問題が解決されることはないのではないかと思います。

より良い日本になれば出生率も増えると思いますしその為には法律の改正であったり環境の改善が必要だと思います。

私たち一人ひとりがこの国に生まれて良かったと思えるような環境になればいいなと思いました。

## ②仲間の発表を聞いて気付いたこと